

会 議 録

会議の名称	第 12 回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校 開校準備委員会		
開催日時	令和 5 年 7 月 13 日（木） 開会 18：30 閉会 19：15		
開催場所	つくば市役所 2 階 201 会議室		
事務局（担当課）	教育局 学務課		
出席者	委員	井上拳吾、金子朋子、黒崎徹、松本麻衣、谷池真彦 木ノ内富美代、高橋正典、別府孝泰、松本智加、熊谷みを 牧野祐一、谷山友香	
	事務局	学務課課長 下田裕久、学務課課長補佐 川又文江 学務課係長 大友博幸、学務課主査 菅原理恵 学務課主任 篠原周平、学務課主事 白土直也	
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部公開
	傍聴者数	0 人	
非公開の場合はその理由			
議題	（1） 制服アンケート結果の公表及び選定 （2） 体操服のアンケートについて		
会議録署名人		確定年月日	年 月 日
会議 次 第	1 開 会 2 議事 （1） 制服アンケート結果の公表及び選定 （2） 体操服のアンケートについて 3 その他 4 閉会		

< 審議内容 >

1 開会

2 議事

事務局：ただいまから第 12 回(仮称)みどりの南小学校、みどりの南中学校開校

準備委員会を開催いたします。議事に入ります前にお願いをいたします。本日の委員会は、AIにより議事の文字起こしを自動で行うシステムを使用しております。このため、大変お手数ですが、ご発言の際は必ずマイクをご使用くださいますようお願いいたします。マイクの下スイッチを押していただき、マイク中央部のランプが青く点灯しましたら使用できますので、よろしくお願いいたします。

事務局：それではこれより議事に入りたいと思います。議事の進行につきましては、委員長にお願いしたいと思います。

委員長：それでは会議の進行をさせていただきます。本日の傍聴者の方はいらっしゃいますか。

事務局：おりません。

委員長：それでは、このまま議事に入ります。本日の議題は、1つ目が制服アンケートの結果の公表及び選定。2つ目が体操服のアンケートについてになります。それでは、制服について配布されている資料の説明をいただきたいと思ひます。

事務局：はい、事務局です。そうしましたら資料の方を1枚めくってください。資料1の方から説明させていただきます。こちらの方は制服・体操服スケジュールの案の方になっております。本日、第12回委員会、7月13日に行いまして、この後、本日制服に関しましては、アンケート結果の公表と選定の方をしていきたいと思ひます。この後、体操服に入るんですけども体操服に関しては、この後、アンケートの方を実施させていただいて第13回委員会で体操服のアンケートの結果の公表及び選定の方をしていきたいと思ひます。スケジュールについては以上になります。資料の方を1枚めくってください。今回の制服アンケートの結果の方を資料2の方にまとめさせていただきました。アンケートの回答数としましては、全体で2,378票の回答がありました。それぞれ設問1から3について、設問1はまず、

このプラン1から3の中から制服を1つ選んでくださいという設問に対して、みどりの学園の児童生徒、保護者、及び谷田部南小の児童生徒と保護者の4つに分けて、まとめさせていただきました。なお谷田部南小学校の回答の中には、谷田部中学校の生徒とその保護者の方を含んで数字の方は入れてありますので、ご確認をお願いします。設問2に関しては、ポケットの切り口について水平が良いか斜めがいいかということで、水平と斜めと無回答の欄に分けさせていただきました。その下、水平と斜めのうち、プラン1、プラン2、プラン3を選んだ人が、その中から水平を選んだ人という形で分けさせていただきました。設問3のポロシャツに関する質問なんですけども、今回まだお子様の集計の方がこちらでまとまりきっていないので、保護者様の回答のみ公表とさせていただきます。制服の資料の説明については以上になります。この後委員会の方でプランの方の選定と、ポケットの切り口等についてご協議いただき、選定の方をお願いしたいと思います。あと補足説明なんですけども、本日は19時に体操服のメーカーさんの会社の方をお呼びしておりますので、お時間の方も少し気にしていただきながら決めていただければと思うので、よろしくをお願いします。事務局からは以上になります。

委員長：はい。ありがとうございました。それでは、制服について、選定をしたいと思います。アンケート結果からすると、プラン3でポケットは斜めということなんですけども、いかがですか。いいですか。はい、じゃあもう、まさにその、あれです。あの形になりますということで、よろしく願いいたします。あと、夏服のズボンを作るか作らないかっていうことなんですけども。作った方がいいですか、それとも通年1本でいいですか。ちょっとご意見いただければ。スカートも夏服ってあるんですか。今日。同じ柄で織り方が違うやつ。

トンボ：はい。ズボンと同じようにですね、スカートも見たい目は同じなんです

けれども、夏の仕様、夏生地という形で、存在はします。

委員長：いかがでしょう。実際に購入される方々。

委員：夏、制服着用を推奨される場合はあった方がいいと思いますが、今の谷田部中学校のように、基本、ジャージでも OK っていうのであれば、なくてもいいかなど。冬服で夏も過ごすことを想定するのは、厳しいと思います。

委員長：谷田部中学校の現状は、いつからハーフパンツ、半袖着用 OK になるんですか。

委員：今年は7月3日から9月15日ぐらいまでだったんですけど去年は何かコロナも挟んで、7月ぐらいから後、ずーっともう体操服でした。

委員長：冬服っていうか一応衣替えがあって、しばらく制服着ていて、それで、半袖ハーフパンツ着用の時期に入るといえることですか。だけど衣替えがあっても、ズボンは冬服のまま次のハーフパンツに移行する感じですか。じゃあ谷田部中って夏服のズボンはないんだ。

委員：一応売ってはいますけど誰も購入はしない状況です。今は。

委員長：という状況だそうですがどうですか。はい、お願いします。

委員：購入する側とすれば、選択肢が広い方がいいので、夏物も準備していただければ、それは幸いですが、業者さんが夏のもものは売れないのでいやだっとなったら、また話は違ったりするのかなと思いますけど。

委員長：どうですかね、業者さんとしては。

トンボ：はい。今ご意見の方なんですけれども、確かに近年、夏服の方が体操服で通学という学校さんが増えてきております。ただ冬制服と夏制服、今のボトムの件である学校さんに関しましては、ご注文をいただくタイミングが春先の入学前に採寸でご注文いただくんですけども、その際に、冬服と夏服を同時にご注文いただいている形ですので、そのタイミングで保留という方もいらっしゃいますし、後程購入したいっていう方もいらっしゃいますけれども、その最初のタイミングでご注文いただくので、おおよそ

夏服のズボン・スカートは、その時点で見えてくるのかなって感じ
です。ですので、冬があるから夏服を1本も買わない場合でしたら
そのような対応できますし、ご購入の枚数が何本か10本、20本ありま
すれば、それはそれで対応させていただければと思います。はい。

委員長：準備してあってもいい感じですよ。スカートも準備いた
くってこども大丈夫ですか。

委員：前にあったんですけど、中学校の制服を買いに行くときに、
夏服を買いますかと聞かれて、普通は買うんですかって聞くと、皆
さんお買いになりますというコメントがありまして、うちは買いま
した。皆さんお買いになる、皆さんお履きになるっていう前提だ
と思うので、どう運用していくかっていうのもある程度、事前に
教えていただいた方が良くと思います。履かないんだったら買わ
ないっていう選択肢がちょっと見えない中で、買わない選択肢が
思いつかない人もいます。

委員長：流れとしては多分1月中盤ぐらいに学校説明、入学説明
会。今、谷田部中でも、谷田部南小でも、みどりの学園でもやっ
ていると思うんですけども、1月の中盤までには、学校説明会が
あるので、新しい学校のおおよそについてもそこで説明をしない
といけない。今の段階で、半袖、ハーフパンツが着用可に確実
になるっていうことは言えないので、検討もしてないし。1月の
学校説明、入学説明会を聞いて判断していただくしかないんじや
ないかと思いますね。例えば学校説明会の時に、半袖ハーフパン
ツでの通学もありますよ。ある時期になれば。というご説明をし
た場合に、それだったら、そこまでは冬服で通学させて、クール
ビズだったときに、ハーフパンツだからまあいいやって判断して
もらうか。いや、衣替えして、衣替えする前から暑ければ、夏
服着せてもいいなと判断して、ご購入するかっていうことにな
るので。

委員：買う、買わないはその保護者の自由で選択肢が広ければ
広い方がいいと

思うんですね。ただ、今みどりのの6年生なんですが、部屋が狭過ぎてお着替えする場所がないということで、体育の日は必ず運動着を着て、登校しなければいけないんですね。ですので、新しい学校も暑いから、体操服着て来てもいいよってというのは、それは自由だと思うんですね。制服を着たい子もいますでしょうし。ただ、そうやって着替える場所がないですよってなった場合に、必ず着ていかなければいけないっていうことになったときに、それだったら夏服を買わないっていう人が、多いんじゃないかなと思います。事前にその着替える場所とかもわからないかもしれないんですけど、そういったことも想定されるっていうことはあり得るのかなと。今も6年生であるぐらいですからと思いました。

委員長：そういうことも含めての説明会になると思うので、今、いろんなことを断言できないんですけど、選択肢は増やしていくということで、買う、買わないは別にして。夏服のスカート・ズボンは、用意しといていただくっていうか、購入する人がいるかもしれないということで用意しておくということですね。はい。ではまとめると。制服はプラン3でポケットの切り口は斜め、ですのでサンプル通りになります。夏服のズボン・スカートは、作る準備をしておいていただくということになりました。

事務局：はい、事務局です。ありがとうございます。そうしましたら、今の委員会の意見の通りに、制服の方の製作は進めていただければと思います。メーカー様の方から何か委員会の方に、聞いておきたいこととかがあれば、お願いしたいんですけども、いかがでしょうか。

トンボ：はい、ありがとうございました。今回ですね、ご意見いただきましてこちらのプラン3の制服の方を元にですね、新しい制服ということでやらさせていただきますと思います。今回ワッペンが仮についているような形なんですけれども、前回お持ちさせていただいたものよりは、ほぼ原寸大に近いような形で、ちょっとイラスト的なものなんですけれども、やらさ

せていただきました。こちらのワッペンもこのままご採用という形でよろしいでしょうか。

委員長：ワッペンはそれそのものなんだっけ。

トンボ：はい。ワッペンは、この間ついていたのはちょっと大きくてバランスが悪かったんですけれども、それをちょっと縮小しまして、こちらの大きさの方で作ってるってことですね。はい。

委員長：じゃあもうこれそのものっていうことですよ。皆様どうですか。よろしいでしょうか。大丈夫ですか。はい。ありがとうございます。それでは制服については以上ですかね。

委員：ボタンって決まったんですっけ。

委員長：ボタンはどのようなものがつくんですか。

トンボ：はい、今ついているボタンはですね、こちらの上着合うような色のイメージのボタンをつけさせていただきました。現状ついているボタンはどちらのボタンでもないような感じなんですけれども。こちらのボタンのイメージでいくか、ちょっとデザイン的なものをちょっと起こしてきたものがありますんで、ちょっとこちら今、プリントのお渡しさせていただきますので、ちょっとこういうボタンのデザインがございますということで、ちょっと見ていただければと思います。

委員：質問よろしいでしょうか。これって丸枠ありとなしがあると思うんですけども、これで値段とかは変わるんですか。

トンボ：はい。こちらのデザインでですね、若干のデザインの違いで値段が変わることはないです。はい。

委員：じゃあこの4案どれとっても値段は変わらないということですね。はい。

トンボ：こちらのいずれかでも、お値段の方は同じパターンで、はい。

※メーカー提示のボタン案4種から多数決で1案を選定。

委員：ワッペンに関しては、ちょっと先ほど近くでお聞きしてたんですけど。

あの今のデザインで確定ではなく、この後どういうふうに流れていきますかね。

トンボ：はい。今のワッペンですね、ついてるものが1つの目安ということですね、別案の方がもし必要であれば、新たにまたデザインの方を起こして参りまして、またいくつかっていう形でご用意の方はできます。はい。

委員長：ワッペンについてもこのボタンのような形で示していただいて、決めることができるってということですね。はい。これに日程的にはそれを協議する時間ありますか。制服さえ作れていけば。

トンボ：はい本体の方がですね、先ほど3番ということでしたので、附属品に関してはまだお時間の方がございますので、はい。

委員長：そうしたらその選定のその日程については事務局の方でまた決めていただければ、どこかの準備委員会のところに入れていただければ。はい。ここでまた同じように決めていきたいと思います。

トンボ：はい。こちらの方ですね、8月末ぐらいまでに決めていただければ。はい。はい。そうしましたら、8月9日のまたこういう形の会合の時に、デザインの方ですね、ご用意して、お選びいただくような、はい。その形で、8月9日にはご用意させていただきます。

委員：教えていただいたかもしれないんですけども、ネクタイはこうかちつと簡単に止められるタイプなんでしたっけ。

トンボ：はい。今回お持ちしたのはですね、通常の縛るのとかこのループ式のリボンなってますけれども、採用分に関しては、ワンタッチで引っかけられるタイプのもの、リボン、ネクタイの方やらさせていただきます。はい。

委員長：他に確認しておきたいことは大丈夫ですか。それでは、やはり時間もありますので、制服についてはここまでにしたいと思います。

事務局：はい、事務局です。議事の進行ありがとうございました。制服についてはここで一度切らせていただきたいと思います。メーカーの皆様本日は

どうもありがとうございました。

委員長：続きまして体操服の議事に入りたいと思います。配布してもらっている資料について、事務局から説明をお願いいたします。

事務局：事務局です。そうしましたら体操服の方の議事に移っていきたいと思います。体操服の方に関しまして前回の委員会の内容を反映したもので、メーカー様の方から、長袖、長ズボン、半ズボンのセット①、②、③のような形と、あと半袖の方ですね、「あ」、「い」、「う」という形で作ってきていただきました。この後、メーカー様の方から補足説明の方をお願いさせていただきまして、そのあとですね、アンケートの取り方なんですけども、こちらの方で案1と案2のような形でちょっと作らせていただきました。まず案1の方から説明させていただきます。案1としましては、長袖、長ズボン、半ズボンと半袖のセットとして3通りから選んでもらう方法で、それぞれ1の「あ」、2の「い」、3の「う」から1つ選択してもらう方法を、案1とします。案2の方法としましては、長袖、長ズボン、半ズボンと半袖は別に、アンケートの取り方としては3かける3通りから選ぶ方法を案2とさせていただきます。まず、この後今回持ってきていただいた①、②、③と「あ」、「い」、「う」について、メーカー様の方から補足説明があればお願いしたいと思います。では一旦委員長に進行の方を戻します、はい。

委員長：そうしましたら、メーカーさんに持ってきていただいたサンプルについてご説明いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

ママダ：はい。お手元の資料にありますCGの資料をご覧くださいながらになります。向かって左からですね。こちらが①の体操服の長袖、半袖、ハーフパンツで真ん中2番ですね。3番というふうになっております。前回の委員会で皆様のご要望をとらえて、それに沿った形で今回サンプルをご提出させていただきました。今事務局からお話がありましたように、半袖につ

きましては、どちらがそれを選んでいただいても、そんなに遜色がないデザインということで、そのアンケートの取り方については、今からのご議論になろうかと思えます。簡単ですが以上になります。

委員長：ありがとうございました。それでは、ご説明いただいたサンプルについて。質問があればお願いいたします。はい、お願いします。

委員：はい。すいません今、Tシャツの「あ」、「い」、「う」ということで、デザインの方と実物を見させていただいているんですけど、これ「い」のデザインは、どちらなんでしょうか。展示の方はシルバー、白っぽい線が入ってると思うんですけども、こっちでいただいた資料の方は緑の線になってるんですけども。なるほど。この紙の上では緑に寄せたっていうようなイメージでいいんですね。わかりました、ありがとうございます。

委員長：他にありますか。はい、お願いします。

委員：前回のお話で、白の方は実物展示がないっていうふうに聞いたと思うんですけど、どんな感じのパネルで、同じようなところにこう置かれるのかとかちょっとその辺の展示の仕方をちょっと教えていただければと思います。

ママダ：はい。お手元にございます資料そのものが展示パネルになります。ですのでパネルは白のTシャツについては1枚のパネルで、「あ」、「い」、「う」というふうな表記をしてございます。

委員長：サンプルについて何かをお聞きしたいことありますか。他になければ、そのアンケートフォームの案についてですね。参考案①と②を用意していただきましたが、どちらの方式でアンケートを取るかを決めたいと思いますのでちょっとアンケートよく見てください。これ説明してもらっていいですか。

事務局：はい、事務局です。まず案1の方なんですけども、こちらの方は、半袖と長袖、4つセットでアンケート取る方法になります。左の方から見て、

左の2つで1つ。真ん中2つで1つ。右の2つで1つの3択から1つ選ぶ方法になります。案2の方としましては、半袖のTシャツだけ別で考えてもらって、今展示してあるものから、まず長袖のものを選ぶのを設問1とします。それで、長袖を選んだ後に、半袖3つの中から、その長袖に合う半袖を選んでいただく方法が、案2の方になります。簡単な説明なんですけど以上になります。

委員長：ありがとうございました。ちょっと考えていただいて、半袖を選べた方がいいかってことですよね。要するにね。だから、長袖、長ズボン、ハーフパンツはもう変えようがなくて、半袖だけこう組み合わせることができますよっていうアンケートだと思います。お願いします。

委員：真ん中ものはカンコーのロゴが入ってると思うんですけど、メーカーさんの的にはそれが別のデザインのものとかくっついたところでそれは問題ないっていう認識でよろしいでしょうか。

ママダ：はい。すいません。その組み合わせに関しましてはどちらで、どのような組み合わせでも特にカンコーのロゴが入ってても入ってなくてもこちらの方は問題ございません。

委員長：はい、お願いします。

委員：みんなで提案してこの中で、提案させてもらって、見本ができ上がってきてて、ぱっと見て、セットでき上がってて、そのあとアンケートにかけたら、ぐちゃぐちゃになっちゃったら、せっかく見て、これがいいなっていたので、先にこの委員会の中で、どれがいいと思うとかの感想をまとめてみて、もし2がいいっていうのであれば、多かったらもう動かさないで、決めちゃった方がいいんじゃないでしょうか。でないとアンケートかけたらぐちゃぐちゃになっちゃってしまうと、せっかくの案がうまくいかないのかな、選択肢があった方がいいのかもしれないんですけど、私はそう思います。

委員長：いかがですか。はい、お願いします。

委員：私も今の意見と一緒に言うと選べるというつもりで前回選んでないので、なのでもうセットで選んでもらった方がいいと思います。

委員長：はい。他、ありますか。参考案①のフォームでアンケートとったほうが、委員会の意見が反映されるんじゃないか。きちんとデザインされた上下、半袖、ハーフパンツになるんじゃないかっていうご意見なんですけれども、それでよろしいですか。とすると、アンケートの形式は、参考案①で取るということでもよろしいでしょうか。はい。じゃあ事務局さん。

事務局：はい、事務局です。そうしましたら案1の方で進めていくとしまして、先ほどメーカー様の方からデザインパネルの展示の資料の方、いただいたと思うんですけども、今お手元に2種類の資料があると思うんです。片方は、紺の半袖シャツが入ってないもの、もう1つは紺の半袖シャツが入っているものでこちらの方に関しては、どちらの形式で展示の方を学校の方に展示の方を進めていきますか。

委員：今の流れから言うと、このこっちの、後から配っていただいた方の紺の隣に白も掲載するようなことが可能であれば、例えば、ここに紺しか載ってないんですけども、ここにこう白も展示できればトータルセット、コーディネートが見れるような気がします。

事務局：今言われました白いTシャツについては、実はちょっとよく見ていただきたいんですけど、紙が良い方の後で見てもらうとわかるんですけど、後ろのTシャツで「い」、「う」については、白と紺は同じ素材なんですけど、「あ」だけは紺と白で素材が違うのでそれをこの1つの中に入れることがちょっとできません。「あ」に関しては資料の説明もつけなきゃいけないので、枠の中に入らないんですね。白いTシャツは、紙の方では別で出してもらってるような形になるので、「あ」のTシャツも白と紺が同じ素材のやつであれば、入れることは何とかできたかもしれないんですけど

ど、ちょっとそこが違うので、どうしても白だけパネルも別になってしま
う。展示のときにはちょっと申しわけないけど、「あ」のセット、「い」
のセットで置ければいいんですけど、白の T シャツだけちょっと違うパタ
ーンで別に後ろかなんかは省いておいておかないと、皆さん「あ」を選ん
だときに、後からわかるよりも白と紺では素材違うんだよってというのがあ
らかじめわかってもらった方がいいと思うので、素材が違う点が出てきち
ゃってるので、白の T シャツだけ別でパネル展示をしたいなとは思って
すけど。

委員：そうするとこう開きで、ちょっと大きくしたところに、2の隣に「い」
とかいうのは、スペース的に広くなり過ぎちゃいますかね。今この A4 サ
イズに入れるとすると、スペースが足りないということなので、これをこ
う、これの右側に、「い」の隣にこう、「あ」を大きくしてつけたりする
ことは難しいですか。この用紙の中にはちょっと入らないんだったら用紙
を大きくするだけじゃないかっていうことを言いたいんですけど。

委員長：はい、お願いします。

委員：業者さんにお聞きしたいんですが、その実物はこれを学校に持っていっ
てくださると思うんですが、この T シャツの説明に関しては、どのような
形で展示するんですか。大きい模造紙のようなものに、この説明を印刷し
てそれをその横に置くんですか。

ママダ：はい、一応商品を置いてその隣、ちょっと配置を見て方にはなるかと
思うんですけども、B2版の大きい用紙というか、印刷したものを、パネル
に貼り付けたものをちょっとイーゼルに立てかけて横に置くっていう形に
なります。半袖に関してはその3点おいた、隣とかに半袖だけのものを立
てかける、提示するっていう形になるかと思えます。

委員：その際には、白い T シャツに関しては、実物が無理だということですが、
生地はそこにつけたりとかっていうことはあるんですか。説明の下に生地

はこれですって張り付けてあれば、手で触って、こういう生地なんだっていうのが分かるのかなと思います。デザインではなくて生地だけ。

ママダ：そういったことでは白タイプのものであれば、デザインのものを用意はできないんですが、無地のものであれば、その素材感だけを確認していただくということで、することは、展示までに用意することがございます。

事務局：展示するのが明日なので、パネル自体が、間に合わないんですね。明日じゃなくていいのであれば、展示を遅らせますけど。

委員：事務局にお聞きしたいんですけど、先ほどの説明でいうと、T シャツの展示はもうこのパターンになりますということでしょうか。

事務局：イメージ的には、今回、制服の展示を見に行かれたということであれば、1番のタイプの中に、パネルを入れまして、2番の間にパネルを入れます。3番の間にパネルを入れます。またそれと別のところに、T シャツは置いておく。そこに白は真っ白なやつが見本でくるので置いておくっていうパターンをイメージしてはいますので。どうしてもそのパネルが間に合わないので、今から修正するのはちょっとできない状況なので。スケジュール感をずらすのであれば、パネルを変更できますけど、夏休みに入ってしまうっていうことですかね。今回はそちらです。パネル的には2つパネルがあるので、選べるのは今選べますけども。もう1ついいですか。どちらでもできるんですけど、この「あ」、「い」、「う」でそれぞれ紺と白のT シャツがあるパターンですと、パネルもこれできますから、物自体も同じように置くしかないので、メーカーさんにもう1点持ってきてもらえるのであればいいんですけど、今ハーフパンツのT シャツでセットになってますよね。ものがもしないとすると、ハーフパンツだけでT シャツはもう別に持っていかないと展示ができないんです。今言ったように紺と白のT シャツを並べて、パネルを置かなきゃいけないので、紺のT シャツがないと、あそこのセットで置いておくと、予備のT シャツがないとT シャツ

ツが置けなくなってしまうので。ものはありますか。例えば1の「あ」のTシャツで、紺が4枚必要です。

ママダ：今回、用意しているのは、特別に別注品ということで作ったものなので、実は今2枚だけ。ここにある1セットとあと今、明日持っていく用の1セットの2枚しかございません。

事務局：もしも、この「あ」、「い」、「う」のTシャツを紺と白でセットにするパターンでやる場合には、ハーフパンツだけしか飾れなくて、Tシャツはばらすしかないかなとは思うんですけど。白のTシャツだけのパターンにすれば、あのままでおいて、白いTシャツだけ別に置くっていうパターンにはなりますね。

委員長：複雑にならない方がいいとは個人的には思います。はい。だからこれ見ると、「い」と「う」は1つの枠の中に入ってるから、素材が同じなんだね。「あ」は、2段になってて、白はこれ紺はこれってなっているから、素材が違うんだっていうのは、よくわかるなって、個人的に思います。

委員：何だったらこの横に書いてある引っかけにくい。毛玉になりにくいとかいうこの説明の部分を切り取って、そのTシャツに貼っつけて、紺色だったら貼りつけられるじゃないですか。そうしたら、生地それなんだなって説明ってわかって、白は、白も選択できますよっていう選択肢なのでもう実物もないですし、白に関しては、この印刷、だからこっちですね、ざらばん紙のやつをこの2セットの横に白もありますよ、生地はこれなんだよっていうのがあれば、一目瞭然でわかるのかなと思うんですがいかがでしょうか。

委員長：いかがでしょうか。

事務局：よろしいですか。現物でやりますね。最初にこの紙が良い方で展示するとなると、紺のTシャツが今2セットしかないの、これ外します。こうしただけのこのパターンで、ここにパネルがあって、こう説明がくるの

が、こっちのパターンですね。この T シャツが2つ一緒になってるやつ。これを外した上、説明書きをここにこう置きますよね。紺の T シャツと白い T シャツを別のところに持って行って、このパネルを貼るっていうのが、このパターン。もう1つのパターン。これはもうそっくりここに説明書きがきます。それで、白い T シャツが別のところにあって、そこのところにこの説明のパネルがドンとくるのがこっちのパターンです。今言ったように、こちらのパターンになってしまうと、紺がもうない。紺があれば、このパターンで置いておいて、もう1つ紺を持ってきてもらって、紺と白の T シャツがあって、そこにパネルがあればできるんですけど、紺がないので、このパターンでやった場合にはこれを取らないと別で作れないので、見栄えがハーフパンツだけのを置くことになる。シャツのイメージがつかないかもしれないですね。というのが、このパターンですね。

委員：今説明聞いてわかったんですが、そうであれば、トータルコーディネートが半袖とハーフパンツに関してわからないので、子供がぱっと見て、これがいいこれがいいってイメージを掴めないと思うので、私はざらばん紙の方のやり方がいいのかなと思います。

委員：表現的な話なのかもしれないですけど白の T シャツをあんまり遠くには持って行って欲しくないんですけど。先ほどのご説明のこの紙の方の展示の仕方でいいと思うんですけど、白の方はできるだけ近くに置いて欲しいなと思いました。

委員長：配置ですね。そうすると、後者ってことですよね。さっき説明があった後者の方で、配置してもらおう。ということになりますが。それでよろしいですか。そしてアンケートは、セットで取るんだから、参考例①のアンケートフォームになるということでもよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。そうすると、アンケートを取る対象は制服の時と同じでいいですね。制服と変わりなし。スケジュールについては、先ほど資料

1で示していただいた通りサンプルをすぐに置いていただいて、18日から24日でアンケート、子供がいるうちにアンケートを取る。紙でアンケートを取る形になりますけれども、このような形でアンケートを実施して、8月のさっき8月9日に集まるって言ってましたけど、ジャージの集計も9日に出てくる。出てくるんですね。そこで決められると。はい。わかりました。というところになったんですけども、よろしいですか事務局。

事務局：1点ほど修正をかけたいなと思いますが、よろしいですか。Tシャツのこちらの茶紙の方でのパターンでいく場合に、アンケート用紙もそうなんですけど、アンケートの用紙が参考案①の方になると思うんですけど「あ」、「い」、「う」っていう表示は取っちゃいます。1、2、3しかもういらぬのかなと。Tシャツについても、ちょっとメーカーさんとの調整なんですけど、白の方が「あ」、「い」、「う」ってなってるのを1、2、3だけにする。そうすると、多分同じになるのかなと思うので、修正が間に合わない場合は「あ」、「い」、「う」の上に紙か何か貼って、1とか2とか3って書いてもらうような応急処置になっちゃうんですけど、そのようなパターンでパネルも全部直す形になるかなと思うんです。なので子供たちの保護者に選んでもらうのは1、2、3のパターンから選んでもらうっていうだけのシンプルな回答。

委員長：その方が迷わないで済むと思います。はい。

委員：個人的な意見ですけども、展示するとき、ここの上のジッパーを開けて中の色を見せたほうがいいかなと思うのと、あと、その1番のTシャツを展示するとき、背中を見せる方が、いいのかなと思いました。すごくシンプルなんですけれども、おそらく多くの子供の中には、前だけ見て書いてっちゃう子がいると思うので、やっぱりポイントをこう見せてあげたほうがいいのかなと思いました。

委員：回収で24日に来ていただくのはいいんですけども、生徒が来るのは

20 日までですので、日数が少ないというのと、本校 85 クラスあるので、前回、制服の展示を多目的に出して、担任の先生が連れて見せて選んだんですけど、かなりこの日程だと、正直夏休み前で、厳しいっていうのがあります。なので、もしできたら、紙はこのままで大丈夫かと思うんですが、画像というかそういうものを、教室で、Teams とかに貼ってみて、見たい人とかは休み時間に来て、時間をずらして見れるような形にさせていただくと、うちとしては大変助かるのですが。日にちの方も一応 24 日でとなっておりますが、学校として回収できるのは、20 日までとなりますので、そこが最終日になりますので、ちょっとそこはご検討いただけたらと思います。以上です。24 日回収でもいいとは思いますが実際できるのは、20 日が最後なので、はい。日程は変えないとして、そのデータとかを出していただくことは可能ですか。はい、お願いいたします。

委員長：方法は、前回と同じで子供は紙で保護者の方たちは、デジタルでということに、でよろしいですか。前回と形は変えないほうがいいですよ、きつとね。わかりやすいから。ここまでを通して、この委員会でメーカーさんに、メーカーさんもですけども、質問等があれば、最後に、何か委員会のメンバーから何かありますか。学園名が決まり次第背中にプリントが入ると思うんですけども。プリントの色は指定できるんですか。何とか学園っていう字の色。

ママダ：はい、体操服が紺、黒系ということ、またグリーンっていうことになりますので、色の指定はできますけれども、例えば何て言うんですか。前回もお話あったかと思いますが緑色であるとか、そういったものと、色が沈んでしまっ見えにくくなるというものがございます。ですので多くの学校さんでは、例えば紺、ブルー系のところにやるマーキングは、白であったり、水色であったり、結構映える色を選びになってる現状はございます。

委員長：ジャージが3番になったときに、背中に金色で入れられますか。

ママダ：ゴールドはですね、何て言いますか、率直に申し上げて学校の体操服には、入りますけど、不向きです。耐久性が弱いものなので、だんだんマーキングが擦れてぼやけてきてしまいます。結果的にゴールドの色ではなくなってしまいます。

委員長：ありがとうございました。まあ入るってことはわかりましたので、大丈夫です。他にありますか。メーカーさんから何かありますか。大丈夫ですか。

ママダ：では1点だけちょっと確認させていただきますと、先ほど委員の中からお話がありました、体操服の白の無地の半袖の胸のところ、その素材の説明書きをこう貼り付けるっていうことをするというのでよろしいのでしょうか。その1番の半袖の体操服を素材感がわからないかなということでお持ちさせていただくことになろうかと思えますけども。

委員長：いかがですか。パネルがあれば大丈夫ですか。パネルがあれば大丈夫です。

ママダ：はい。承知いたしました。

委員長：ではないようでしたら事務局さん。

事務局：はい、ありがとうございます。最後にこちらからの確認なんですけども、アンケートの取り方なんですけれども、参考案①の方で保護者用と子供用で分けさせていただいてまして、このうち1の「あ」、2の「い」、3の「う」となっているところを、それぞれ1、2、3のように修正させていただいて、アンケートにかけるような形でよろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。それでは体操服についての議事はこれで以上になります。委員長、議事の進行ありがとうございました。次回の委員会は8月9日を予定しております。議事としましては体操服のアンケート結果の公表及び選定にはなります。特に質問がなければこれにて終了とさせてい

ただきますがよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。ではこれにて第12回（仮称）みどりの南小学校、みどりの南中学校開校準備委員会を終了したいと思います。皆さん、遅くまでありがとうございました。

4 閉会